

平成 24 年度第 5 回運営推進会議議事録

日時	平成 24 年 11 月 28 日
場所	グループホーム優瑠里
参加者名	山本（保健センター）、山下（民生委員）、岡村（ホット）保内第二分署職員、スタッフ 8 名、岡本（施設長）、浅野（管理者）、入居者全員、共用サービス利用者 1 名
<p>1. 避難訓練</p> <p>夜間帯、1 階居室から出火を想定し、発見・通報・消化・GH 駐車場までの避難 緊急連絡網による職員の集合、避難時の介助・協力（近所に住むスタッフのみで対応） 近隣住民、運営推進委員（地域の方々）による避難協力</p> <p>2. 消防署職員による避難訓練の講評。</p> <p>一番は煙を吸わないこと。避難の際、健康な方でも有害な煙をすってしまうと、三分で体が動かなくなり、後に後遺症が残る場合がある。（一酸化炭素中毒） 本日の避難の際、入居者に一旦リビングに集合してもらってから非難をしていたが、一人でも早く外に避難し、新鮮な空気を吸わせてあげる事が大切。 低姿勢で避難する。急ぐと立ってしまい、煙を吸いやすくなってしまう。 エレベーターは絶対に使用しない。途中で止まってしまい、そのまま取り残されてしまう可能性がある。 スタッフがあわてない事が大切。</p> <p>3. 運営推進委員さんとの意見交換。</p> <p>入居者さんが外に出られてからの対応も考える必要がある。 避難に不安を持つ入居者さんもいた。 入居者さんを巻き込んでの訓練も大切であるが、まずは職員がしっかり対応出来る様、何度も訓練を繰り返していく。 火災発生時、消防署通報後に職員緊急連絡網を廻し、職員の招集を行ったが、電話連絡に時間がかかった。保健センターでは、災害時、一斉メール送信でまず一報が入る。 連絡方法について再検討していく。</p>	